

第6回(3月度)学術講習会

2019年3月10日(日)

午前の部 10:00~12:00 (会場: 大阪府鍼灸師会館 3階)

「素問勉強会」

日本鍼灸研究会 代表 篠原 孝市先生

午後の部 受付/13:00~ (会場: 大阪医療技術学園専門学校 第1校舎 2F 大教室)

講演① 13:30~15:00 (90分)

「鍼灸師の気韻生動」

鍼灸Meridian烏丸 院長 中根 一先生

ギリシャ時代に医聖と呼ばれたヒポクラテスが残した「医療はアートである」という言葉は、今なお私たちの心に響きます。しかしながら医療に携わる私たちが、自らを「治療家」と名乗ることはあっても「アーティスト」と名乗ることはありません。なぜならば、私たちが「アート」を理解していないからです。鍼灸の診断法として伝えられる「四診法」は、そのどれもが施術者の主観に基づいています。故に、その能力に個人差が大きく、たとえ師弟関係だとしても同じ鍼灸を再現することはできません。エビデンスが明らかになっても、それを提供するのが人である以上は「デザイン」という個性が加味されます。そのような宿命を受け入れることが、アーティストとして鍼灸を使いこなすプロ意識を育むのだらうと僕は考えています。古来より伝えられている「気韻生動」という教えが、日々の臨床をより豊かなものにする契機となることを期待しています。

講演② 15:15~16:45 (90分)

「NBMと鍼灸臨床」

森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 研究科長・教授 山下 仁先生

NBM(Narrative-Based Medicine、ナラティブにもとづく医療)は、EBM(Evidence-Based Medicine、エビデンスにもとづく医療)に対抗する概念や手法ではなく、互いに補い合う関係です。しがたって、EBM・NBMのいずれも重視し統合しながら臨床実践を行う必要があります。今回は個々の患者のナラティブ(病の物語)について、その個性、多様性、拘束性、共有による変化といった特徴を理解し、それが鍼灸臨床の中でどのように扱われるべきかを考える機会にしたいと思います。

聴講料

※午前・午後を通して

大阪府鍼灸師会会員/1,000円
会員外/2,000円 学生/無料
「ぶらまいさん」は当日登録可能です。

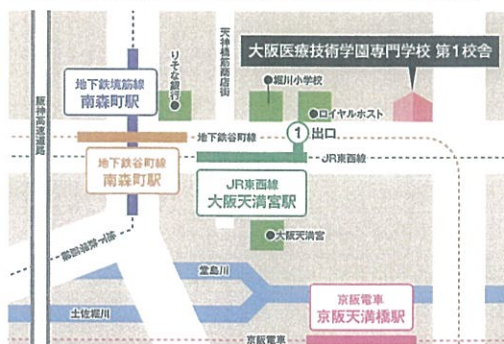
単位

- 東洋療法研修試験財団 研修単位各2単位(計6単位)取得できます。
- 必ず、(公社)日本鍼灸師会GK(学術研修)カードをご持参ください。(カードの無い方も受講できます。)

● 午前の部の会場地図
大阪府鍼灸師会館 3階



● 午後の部の会場地図
大阪医療技術学園専門学校 第1校舎 2F 大教室



事前申し込みは不要です。午前と午後で会場が異なります。ご注意ください。